

2025～2030年,限りなく「1,000人の村」に近づく伊野地区

持続可能な伊野のまちづくりをみんなで考えよう

2012～2016年度に取り組んだ新規事業一覧

| 年 度 | 事 業 | 事 業 内 容 |
|-----------|---------------------|---|
| 2012(H24) | 伊野バージョン（準備） | 「伊野の自然を舞台に子どもの遊びをつくる」ことをねらいとした島根大学教育学部学生と地元住民が協同で行う事業 |
| | 伊野農業懇話会 | 伊野の農業が直面する困難と課題解決の展望をさぐるための話し合い。草刈負担軽減対策、産直市開催などが課題になる。 |
| | 伊野小再編検討委員会 | 市教委から提案された伊野小・東小・檜山小統合案について検討し、地元の結論を出す組織。2015年まで続く |
| | 中学生の入試対策学習会 | 学習塾まで遠い当地区の高校入試対策としてスタート |
| 2013(H25) | 伊野バージョン（開始） | 「秘密基地づくり」「どろんこフェスタ」「島大学園祭突入」など具体的な活動を開始 |
| | ソーシャルラーニング | 島根大学を含む山陰5大学の学生が、地域を学び、地域課題の解決方法を考える学習を伊野で実施（継続中） |
| | 農業アンケート | 伊野の農業が直面する課題を洗い出すために市に要請して実施。担い手不足・離農希望者多数など深刻な実体が鮮明に。 |
| | 上伊野農業再生プロジェクト発足 | 伊野小学校より北の農業対策を進めるため、農水省の「中山間地域直接支払制度」事業を活用する組織。伊野南部の「農地保全の会」と併せ、伊野全域をカバーする組織が完成 |
| | 第3次道路等整備事業3カ年計画策定事業 | 2014～2016出雲市道路整備等3カ年計画事業に伊野地区の要望を入れるため土木委員会が区内を調査し市と折衝 |
| | シカ・イノシシ対策研修会 | 東部農林振興センターの支援を受けて開催。参加者が30名を越え、関心の高さを伺わせた |
| 2014(H26) | 伊野いち | 農業者を励まし、伊野農業の困難を打開するための試みとして、年2回開催 |
| | 伊野第3次福祉計画策定 | 福祉アンケートを実施し、2015～2029年度の福祉計画を策定 |
| | 災害対応のための住民情報データベース化 | 避難行動要支援者等を効果的に支援するため、自治協会加入世帯の氏名や要支援者を調査しデータベース化 |
| | ひだまりカフェ | 「昔なつかしい食べ物」をコンセプトに、自治協会理事が中心となって、伝統食スウィーツと飲物でおもてなし |
| | 大社町荒木地区への避難訓練 | 原子力災害時の避難先となっている荒木地区への避難訓練及び荒木地区災害対策本部との合同学習会開催 |
| | シカ・イノシシ対策 | 上伊野農業再生プロジェクトの呼びかけで金森地区に防護メッシュ等を設置。また、狩猟免許取得者も数名増やした |
| | 伊野消防団3部体制 | 4部体制から3部体制に移行。団員は4名減の39名に。消防力強化のため西地合に格納庫建設。 |
| | ホテル観賞会 | 上伊野農業再生プロジェクトがホテルロード事業を始めたことを受けて、ホテル観賞会を実施した。 |
| 2015(H27) | 伊野小学校存続 | 伊野小学校再編検討委員会が、統合賛成6・反対16で存続の結論を出し、臨時代議員会で承認された |

| | | |
|-----------|--------------------------|--|
| | 学校・地域連携連絡会議 | 伊野小学校存続決定を受けて、伊野小学校の魅力化とまちづくりの連携を効果的に進めることをねらいとした会議。自治協会の修学旅行費助成やプール監視等の地域ボランティア募集などが提案され、次年度から実施された |
| | 伊野暮らし魅力化プロジェクト | 多くの人の知恵や情報・行動を結集してまちづくりを進めるための組織 |
| | 伊野地区道路建設事業推進委員会設立 | 伊野地区の道路整備事業を統括し、継続的に事業の推進にあたるため、自治協会が責任を持つ組織 |
| | ふるさとカルタ作成 | 青少協の呼びかけで、伊野小児童と地域住民が「伊野ふるさとカルタ」を作成 |
| | ファーストレスポnder | 救急車到着までに、心肺蘇生など救命救急にあたるボランティア組織（全国で5例目） |
| | シカ・イノシシ等有害獣対策集落点検 | 島根県東部農林振興センターの支援を受けて、金森町内の有害獣対策を点検（出雲管内で初めて） |
| | 大社町荒木地区の3.11メモリアルウォーク参加 | 東日本大震災を忘れないために荒木地区が毎年3月11日に行っているイベントに参加 |
| 2016(H28) | 伊野川井堰改修 (2016年度から5年間) | 伊野川に9基ある堰のうち4基を改修、5基を撤去し、農業用水の安定的確保と水害対策をねらった国の事業 |
| | 伊野いちファン交流会 | 生産者と消費者の交流を図り伊野いちの未来展望をさぐるため、伊野めぐりや昼食交流会を実施 |
| | しば作り講習会 | 伊野の伝統食文化「しば入りチマキ」を復活させ、伊野いちの目玉商品にするための試み |
| | 伊野地区災害対応マニュアル | 2013年から始まった伊野地区災害対策本部の検討を踏まえ、災害対応マニュアル（原案）が作成された。 |
| | りんごん山整備事業 | 県の「みーもの森事業」を活用して、りんごん山を教育の森に再生するため、歩道・山頂周辺の伐木を実施 |
| | りんごん山トレールウォーク | りんごん山登頂ルートが完成した記念イベントとして開催。木にネームプレートをつけるウォークラリーなどを実施 |
| | 夏休み等の子ども1日預かり事業 | 夏休み等に子どもを全日預かってもらえる場がほしいという要望に応えるため、いのっ子教室と児童館の連携で実施。 |
| | 国際ワークキャンプ | 多文化共生のまちづくりと子どもたちがグローバルな視点で地域・日本・世界を考えるために実施（7日間）。外国人青年6人、日本人学生9人が森林整備や児童との交流を行う。 |
| | 伊野ホームページ | SNS等によるふるさと情報を発信することで、まちづくりを効果的に進めるため、HP作成チームを結成 |
| | 中高生・若者のまちづくり参画事業 | 将来の主権者である子どもたちが地域の課題を学び、まちづくりに参加する事業。中高生・学生・若者が「おばけ屋敷&ナイトカフェ」や文化祭で出店などを実施 |
| | ふるさとカルタ大会 | 「伊野ふるさとカルタ」を使った、家族対抗・町内対抗のカルタ大会 |
| | 第4次道路等整備事業3カ年計画策定事業 | 道路や排水路等の整備を進めるため、土木委員会が区内を調査し、市に対する要望をまとめた |
| | 安心カード | 災害や事故等の緊急時に備えるため、伊野地区社協が連絡先等を記載できるカードを作成し、全戸に配布 |